

日野市

まち・ひと・しごと創生 総合戦略（概要版）



平成28年3月

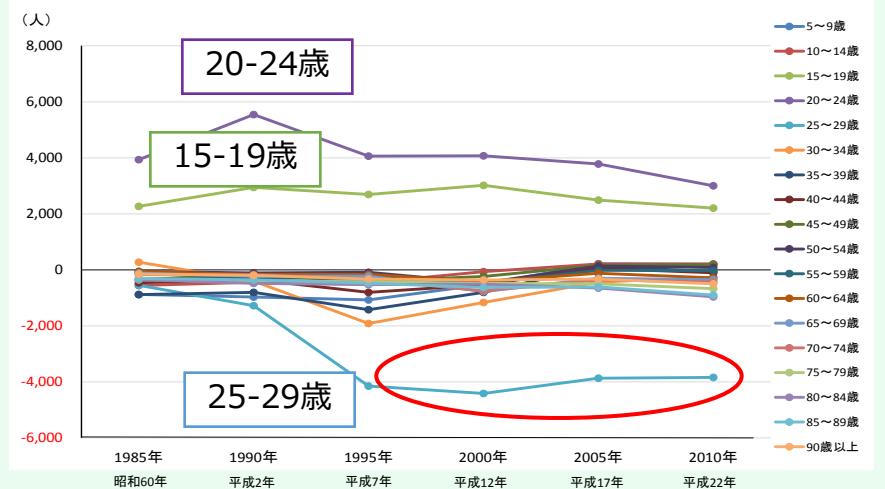
「日野市人口ビジョン」とは

人口減少問題に関する基本認識を市民等と共有し、同じ方向を目指すため、市の人口の現状と将来展望を提示するものです。総合戦略の基礎資料となります。

自然増減の推移



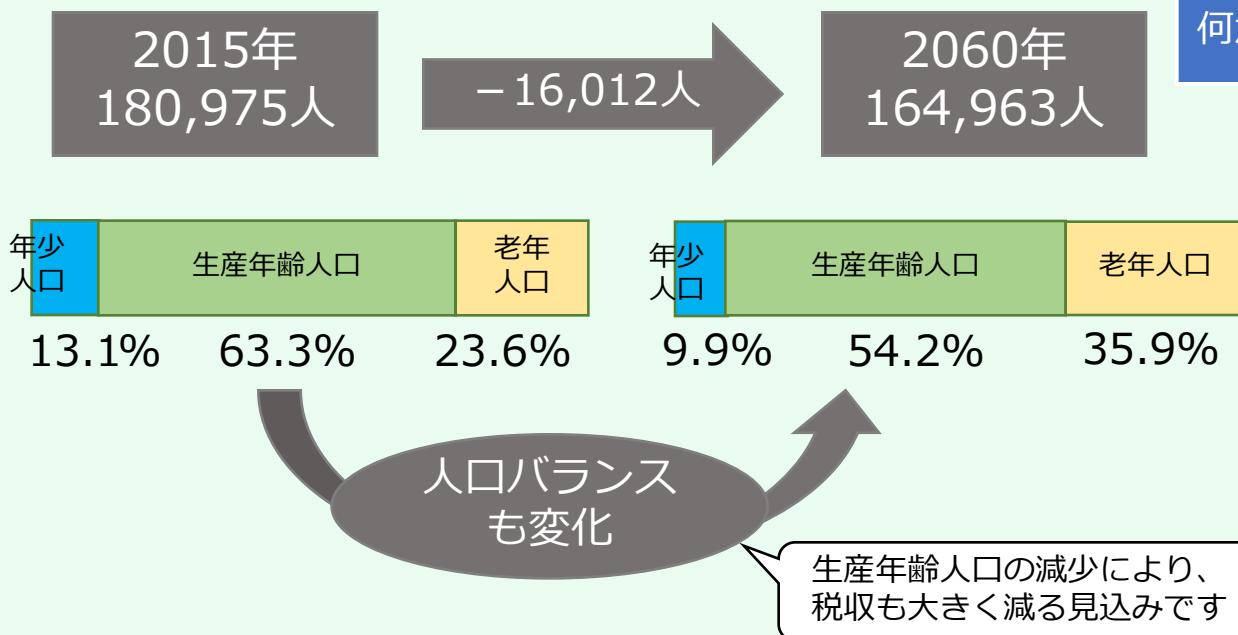
年齢階級別の転出入の状況



- ・出生率は近年回復しているものの、出生数が緩やかに減少しています。
- ・その一方、死亡数が急増しており、今後数年で自然減に転じる見込みです。

- ・大学入学時や就職時の転入が多い一方、**20歳代後半での転出**が多くなっています。

2060年…日野市の人口



何が起こるの？

人口減少により、地域社会に様々な影響が生じるものと予測されています。

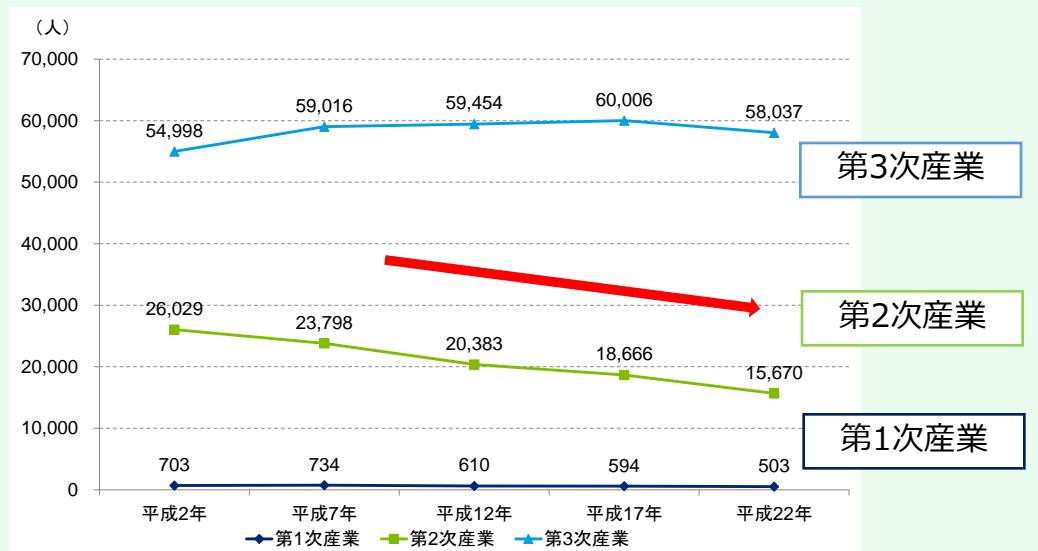
- ・交通・商業等の生活インフラ維持困難
- ・地域経済の縮小
- ・空き家や空き店舗の増加
- ・地域コミュニティの衰退

など

日野市の産業別就労者推移

工場の縮小や移転が相次いでおり、日野市の大きな特徴であった、第2次産業の就業者が減少傾向にあります。

一方で周辺自治体も含め、研究開発に関する投資は活発になっています。



「日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは

国の総合戦略や人口ビジョンをもとに、日野市の目指す姿と今後5か年（平成27～31年度）の戦略や事業をまとめたものです。

人口・産業の変化

人口構造や産業構造の転換期を迎えています。

社会環境の変化

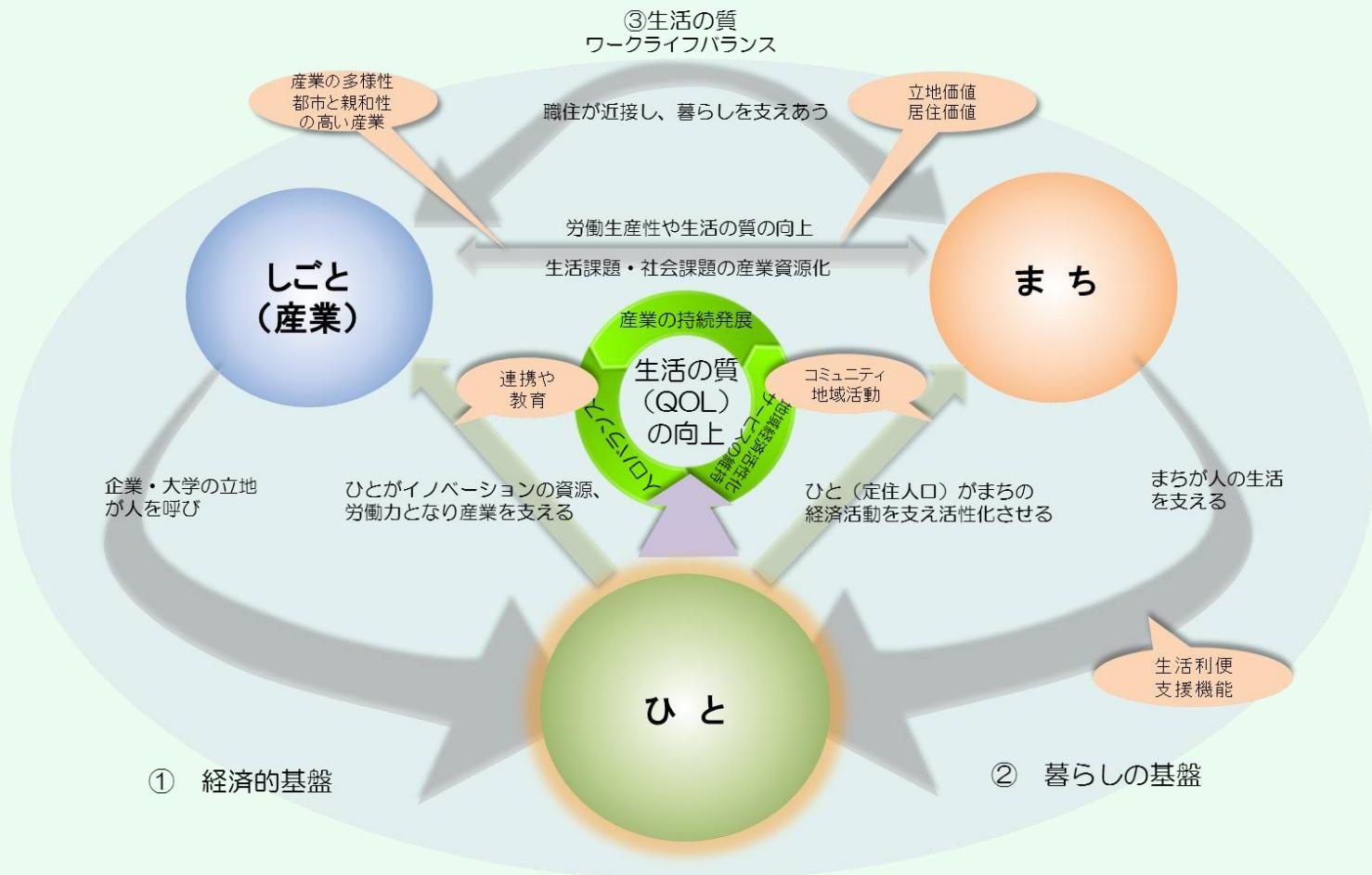
ライフスタイルに応じた働き方や、生活の質の向上を求める傾向が高まっています。

スマートタウンとしての需要が低下

「職」と「住」の 関係のあり方の見直し

生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）を自律的に高め、様々な主体とともに地域の価値を向上させることができるまち「生活価値共創都市」を目指します。

「生活価値共創都市」のイメージ



「生活価値共創都市」

日野市にはまちづくりや福祉など様々な分野で活動する団体、大学・学生、グローバル企業から、技術力のある中小企業、農業者など様々な主体が存在しています。

この多様性を持った主体が共通の社会課題・生活課題を共有し、それぞれの活動を通じて結びつき、共に地域・社会課題の解決に取り組むことで新たな価値を創造する事が可能になります。

その関係性は近年、ソーシャルキャピタル（社会関係資本）という概念で注目されていますが、この、地域の力を新たな資源・資本として最大限に活用することにより、地域価値の向上や産業の活性化、そして生活の質の向上を実現するまちを「生活価値共創都市」とし、本戦略の目指すべき将来イメージとして位置付けております。



基本目標 1 共創による地域産業の新たな展開

取り組み例

産学官金と地域のネットワーク化を促進します

- 諸力融合による価値共創の枠組みを整備します
- 行政が持つデータを公開し、活用を推進します



基本目標 2 多様な就業環境の創造による生活価値の向上

取り組み例

地域での多様な働き方をつくります

- 起業する人材の育成と創業を支援します
- 多様な就業機会や就業環境を創出します



基本目標 3 人と人がつながる生活基盤の整備

取り組み例

地域の連携により価値を創出します

- 様々な主体の参画と連携により、地域の活力を創造します
- 地域の資源を踏まえた地域の価値を創出します

基本目標 4 健康に住み続けられる潤いのある地域づくり

取り組み例

健康で充実した生活を実感できるまちをつくります

- データヘルスを推進します
- 産官学金連携による社会課題への取り組みを促進します
- 健康になる都市環境をつくります